

江別市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し案）に対する
意見公募（パブリックコメント）結果

意見募集の結果

募集期間	令和7年11月21日～12月23日
提出者数	1人
提出件数	7件

意見に対する考え方

区分	意見の反映状況	件数
A	意見を受けて案に反映したもの	1
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	3
C	案に反映していないが、今後の参考とするもの	1
D	案に反映しないもの	2
E	その他の意見	-

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	計画案の表及び図（SDGs のマークを含む）文字と数字が小さく判読しにくい。見直し計画において改善願いたい。	表及び図の文字と数字の大きさを見直します。	A
2	事業系の削減について中間目標が未達成であり、令和12年の目標においても900トンで減量が少ない。事業者ごみ減量対策への行政的取り組みが甘いのではないか。より積極的な関連施策の展開と事業者の努力を促すことが必要である。 また、事業者はごみ処理費にかかる費用は税法上経費と認められることから事業者ごみ処理量への財政負担も見直し、その分を家庭系ごみの負担軽減に充てるよう考える。事業者アンケートで事業者の72パーセントが手数料を妥当と答えているのは事業者の負担が軽いからでないか。	事業系ごみの年間排出量の目標は、9,000トンで、目標達成に向け、施策「1-1) 食品ロスの削減」や「1-2) プラスチックごみの削減」、「1-5) 民間事業者との連携による事業ごみの資源化」に基づき、事業者と協力して進めます。 また、ごみ処理に係る費用負担については、令和6年10月に行ったごみ処理手数料改定の際に、廃棄物減量等推進審議会での審議を踏まえ、事業者・市民・行政それぞれの負担割合を処理に係る費用の3分の1としたところです。 一方、事業系ごみ処理手数料は、事業者自らが処理責任を負うこととしており、施策「4-2) 適正なごみ処	B

		理手数料」に記載のとおり、令和10年度の見直しについて検討します。	
3	プラスチックごみの削減対策について分別回収せず、クリンセンターの熱源として利用するため令和12年まで全く手を付けないことは納得できない。12年にいきなり分別回収資源化することはできない可能性が大きいので、区域を限定した試行などにいまから手を付ける必要がある。札幌市はすでに全市で実行されており、また市民アンケートでも4分の1の市民が必要正在していることからクリンセンターの特性を理由として先延しではなく、計画期間中に手を付けるべきである。	プラスチックごみをエネルギー源として利用している環境クリーンセンターは、令和18年度までの供用を予定していることから、「江別市一般廃棄物処理基本計画」（令和3年度～令和12年度）の計画期間中に、ごみの分別方法を変更する予定はありません。	D
4	令和12年の削減目標1人1日当たりの排出量800グラム以下の目標は、プラスチックの資源化、草木類や生ごみのたい肥化等でさらに削減できる可能性が大きい、積極的な施策を展開することでさらに減量できる。廃棄物減量等推進審議会でさらに議論していただきたい。	プラスチックや草木類、生ごみを資源化した場合、資源化率は上がるものの、ごみの排出量は削減されません。 今後とも、廃棄物減量等推進審議会の審議、意見を踏まえ、「江別市一般廃棄物処理基本計画」の基本方針及び施策に基づく取組を進めます。	C
5	環境クリンセンターの延命化を理由として、中間見直しの新しい施策展開に消極的でないか。中間見直しで終わりとすることでなく、市民や事業者との協働による廃棄物減量について意見やアイデアを聞く機会を多くすることが必要と考える。展開する施策に位置づける必要がある。	「江別市一般廃棄物処理基本計画」の中間見直しに当たっては、学識経験者、事業者及び関係団体、公募市民で構成される廃棄物減量等推進審議会における審議を踏まえ、新たに、施策「3-6)ごみ処理におけるデジタル化の検討」及び施策「4-6)次期ごみ処理の在り方の検討」を加えます。 中間見直し後も、計画に掲げる取組などについて、廃棄物減量等推進審議会から意見を伺うほか、新たな施策「4-6)次期ごみ処理の在り方の検討」に基づき、令和19年度以降のご	B

		み処理方法の方向性について、ワークショップやタウンミーティングなどにより、多くの市民や事業者から意見を聴取します。	
6	S D G s（持続可能な開発目標）を計画の基本にすることには賛成だが、基本方針で突然該当マークが記入されるのは理解しがたい。ごみ処理基本計画の「基本理念」においてまず位置づけられる必要がある。	S D G sについては、「江別市一般廃棄物処理基本計画」（中間見直し案）冒頭の1ページ「第1編総論」、「第1章総則」、「1計画策定の趣旨」の中で触れているほか、54ページ及び55ページの「資料編」には詳細を記載しています。	B
7	「基本方針」2Rを優先した3Rの推進は、資源回収が減少停滞している現状から3Rの積極推進が必要でないか。基本方針1のタイトルは現状を踏まえて修正されるべきでないか。	「江別市一般廃棄物処理基本計画」では、環境負荷の低減を図る上で、発生抑制（リデュース）と再使用（リユース）の2Rを優先的に取り組むとともに、再生利用（リサイクル）を加えた3Rの促進が重要としていることから、基本方針1は、引き続き、「2Rを優先した3Rの推進」とします。	D